

新たな総合福祉センター機能整備検討イメージ

機能整備に関する4つの考え方と総合福祉センターの主な機能拡充等

① 総合福祉センター基本機能の維持・向上

各機能について、上下移動の少ないフロアーに機能を集約し、現行機能の維持を基本として、一部拡充も含め床面積を確保するとともに、障害者等に配慮した通路幅員の確保や駐車場や屋根のある車寄せの設置など基本機能を向上

② ユニバーサルデザイン・アクセシビリティ(交通利便性・利用しやすさ等)・災害への備え

- 京王多摩川駅改札から最も至近距離にある棟への総合福祉センター機能の移転に加え、道路の段差解消など、まちづくり全体でユニバーサルデザイン、バリアフリーをはじめとする多面的なアクセシビリティ(交通利便性・利用しやすさ等)に配慮
- 浸水想定を踏まえ **2階以上に総合福祉センター等機能**を設置することを検討
- 風水害時における発災前から発災後の段階ごとの課題分析を踏まえ、発災前から発災後の総合福祉センター機能の確保、及び福祉避難所の確保など災害時の対応策を検討

③ 地域共生社会づくりの拠点にふさわしい将来を見据えた機能改善の検討

相談室や集会室の充実など、様々な市民が利用できる施設として、地域の福祉拠点機能を強化

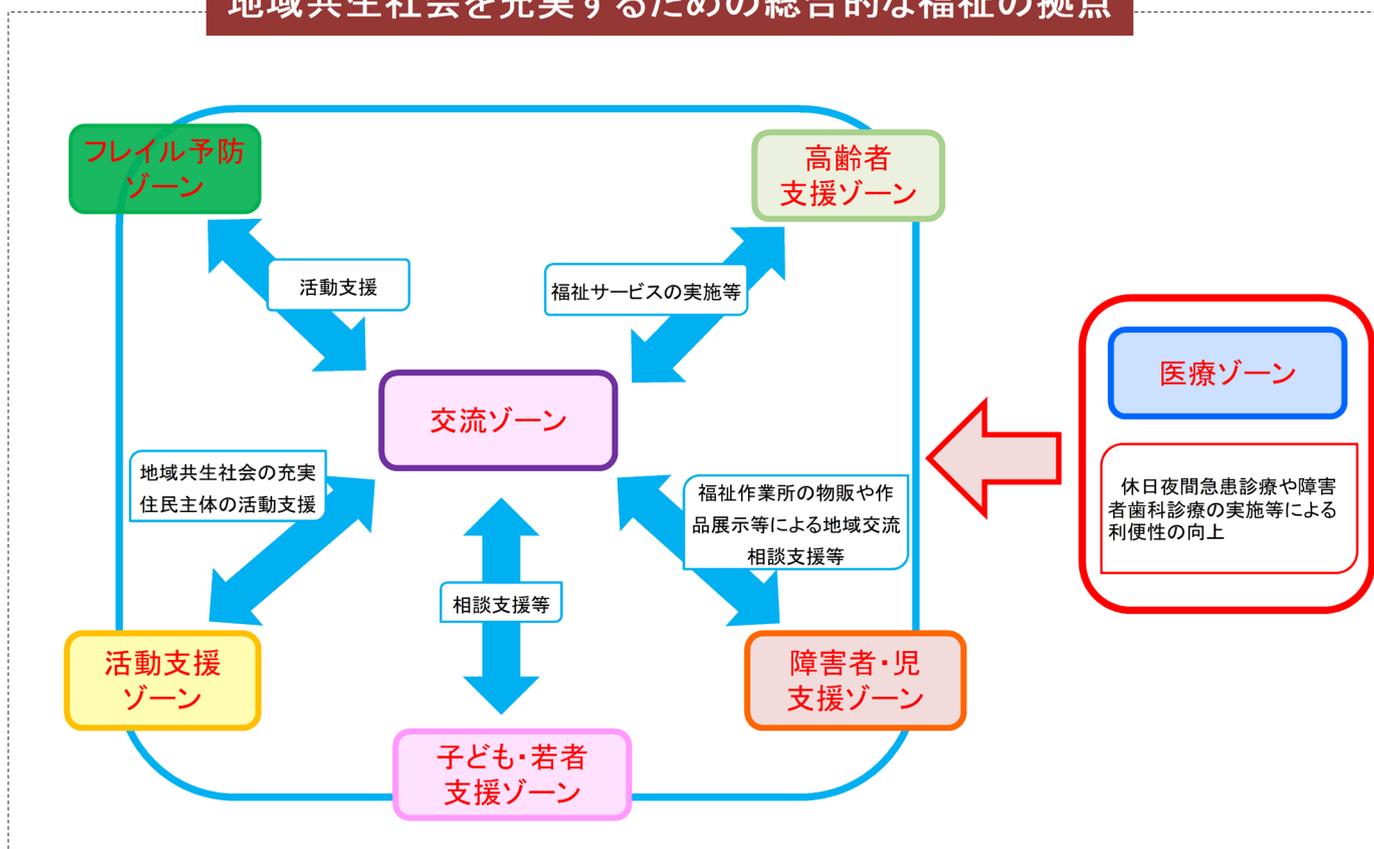
④ 周辺福祉施設機能の集約・複合化

休日・夜間診療等の拠点に関する機能の拡充及び集約・複合化や高齢者の健康づくり、生きがいづくりに関する機能の集約・複合化による総合福祉センター機能の充実・強化

※令和4年2月「総合福祉センターの整備に関する考え方」P21 抜粋

ゾーンの連携イメージ

地域共生社会を充実するための総合的な福祉の拠点



※令和4年5月31日「第2回新たな総合福祉センターの機能・設備に関する検討会」P20 抜粋